

## 第31回東京国際映画祭「国際交流基金アジアセンター特別賞」のお知らせ ～ホアン・ホアン氏（出品作品『武術の孤児』）に決定～

国際交流基金アジアセンターは、第31回東京国際映画祭と連携し、「『アジアの未来』部門 国際交流基金アジアセンター特別賞」を実施しております。本賞は、文化の違いを越え、国際的な活躍が期待される新鋭監督に贈られるものです。

本年は、出品作品『武術の孤児』を監督したホアン・ホアン（黄璜）氏に授与することに決定いたしました。

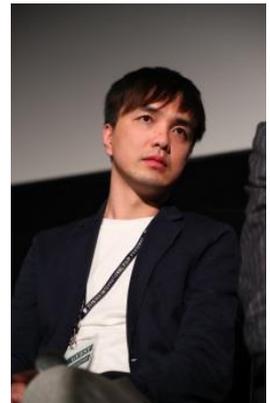
### 記

事業名称：国際交流基金アジアセンター特別賞受賞

主催：国際交流基金アジアセンター

### 受賞者：ホアン・ホアン（黄璜）

1985年中国・安徽省出身。2016年、北京電影学院監督科修士コースに進学、18年に卒業。35ミリ短編作品『No Country For Chicken』が第62回ロカルノ国際映画祭 Leopards of Tomorrow 部門に選出され、映画ビデオ字幕賞を受賞。



©TIFF2018

### 出品作品：『武術の孤児』（2018/中国）

1990年代後半の中国内陸部。中国武術を専門に教える中学校に国語教師として赴任したルー・ヨンホンは、武術の修行が中心の校風に、いわゆる文系教師として戸惑いながら教室での授業を行うが、上手いかわからないばかり。そんな彼の心のマドンナは保健室に詰める女医アン・ランだが、彼女の気持ちは分からない。逆に悩みのタネは、武術の修行になじめず脱走を試みるいじめられっ子のツイシャンだ。あるときツイシャンが再度の脱走を敢行して町の家族の元をめざし、事態が動き始める…。四季のパートに分割された本作は、それぞれの冒頭にカンフーの達人が旅を続ける幻想的なシーンを挿入し、またブルース・リー、ジャッキー・チェン、ジェット・リーへの言及があるなど、中国武術への愛が感じられる作りとなっている。



© Dadi Century (Beijing) Co.,Ltd.

以上

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

## 「国際交流基金アジアセンター特別賞」について

東京国際映画祭「アジアの未来」部門において、文化の違いを越え、国際的な活躍が期待される新鋭監督に贈られます。今年の審査委員は、ジェレミー・スゲ（ユニフランス 日本・韓国・東南アジア担当）、ピート・テオ（ミュージシャン/俳優/映画監督）、山下敦弘（映画監督）の3名が担当。受賞者には、トロフィーとともに、副賞として日本短期滞在（日本人が受賞した場合は、アジア滞在）の機会が贈呈されます。同映画祭における他の各賞の受賞作品につきましては、映画祭ウェブサイトをご覧ください。http://www.tiff-jp.net

**国際交流基金アジアセンター（The Japan Foundation Asia Center）について**（http://www.jfac.jp）  
独立行政法人国際交流基金は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。

また、東京国際映画祭においては、アジア映画特集上映、アジアの映画関係者の招へいとネットワーキング、アジアセンター特別賞の授与、オムニバス映画の第二作目の製作および第一作目の海外・国内上映など各種事業を実施しています。

## 東京国際映画祭（Tokyo International Film Festival, TIFF）について

（http://www.tiff-jp.net）

東京国際映画祭は日本で唯一の国際映画製作者連盟（注1）公認の国際映画祭です。1985年、日本ではじめて大規模な映画の祭典として誕生したTIFFは、日本及びアジアの映画産業、文化振興に大きな足跡を残し、アジア最大級の国際映画祭へと成長しました。いまや最も熱気溢れるアジア映画の最大の拠点である東京に、世界中から優れた映画が集まり、国内外の映画人、映画ファンが新たな才能とその感動に出会い、交流する場を提供しています。「アジアの未来」部門は、アジアの新鋭映画監督にとっての登竜門として知られています。

（注1）国際映画製作者連盟：世界の映画産業、国際映画祭の諸問題を改善し、検討する国際機関。パリに本部を置き、世界31カ国（2018年9月現在）が加盟しています。

## 東京国際映画祭に関するお問い合わせ

東京国際映画祭事務局 プロモーショングループ  
Tel: 03-6226-3012



以上

---

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉）  
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044  
E-mail: press@jpf.go.jp